

(参考様式)

布津東部地区 元気な地域づくり計画書 再改善計画・目標達成状況報告書

平成28年6月20日作成

計画主体名	都道府県名	市町村名	地区名	計画期間	実施した施策の概要		
					実施期間	事業内容(メニュー)	事業量
南島原市	長崎県	南島原市	布津東部地区	H17~21	H17~21	土地利用調整支援	農地集積調整推進検討会 先進地研修 作付調査

1 元気な地域づくり計画の目標

テーマ	農業生産基盤の充実と活力あるまちづくり
目標1：規模拡大担い手農家育成のための土地利用調整活動の促進	
上記目標に対する達成状況 目標1：担い手農家への農地利用集積率の目標70.3%に対して、平成24年度末において実績は62.3%。	

目標が達成されなかった要因

<p>当地区において担い手への農地利用集積を推進してきたが、事業実施に伴い地区内農用地の一部が地区外へと除外されたこと、及び本地区において葉たばこを中心とした経営をされているが、近年、葉たばこの地区の契約割り振り面積が減少しており、農地集積を妨げている主な要因の一つであると考えられる。</p> <p>このことから、本地区では、担い手農家の作付作物の転換が徐々に進行していくことが予想されるが、新たな作付作物を現状決めかねている状況であり、計画的な利用集積について消極的であったため、担い手農家シェアが目標を下回った。</p>

(1) 目標達成に向けた方策

目標達成年度	平成27年度
全体計画	<p>(計画主体としての方策) 今後は、地元代表者、改良区、南島原市と連携し、また必要に応じて島原振興局地域普及課やJA等と連携し作付作物の転換について連携を図り、担い手農家や地権者に対して説明や指導を行い、担い手農家への農地集積の推進に努める。</p> <p>(県としての方策) 現在、農地集積については、目標達成に向け継続して作業を進めており、計画主体との連絡・連携を図り必要な指導、情報提供等を継続していく。</p>
年度別計画	<p>1年目(平成25年度)※年度別計画を設定していない場合は記入不要 当該地区における担い手農家の土地利用状況を把握し、担い手農家及び地権者に対して説明や指導を行う。</p> <p>2年目(平成26年度) 当該地区における農地集積率を把握し、目標達成に向けて担い手農家及び地権者に対する指導を行う。</p> <p>3年目(平成27年度) 当該地区における農地集積率を把握し、目標達成に向けて担い手農家及び地権者に対する指導を行い、農地集積率を70.3%へ引き上げる。</p>

(2) 目標の達成状況に関する評価

<p>(計画主体としての方策) 担い手農家及び地権者に対し指導した結果、集積目標値(70.3%)を達成したことにより、安定した農業経営が図られた。</p> <p>(県としての方策) 目標達成に向けた関係機関との協議調整及び地元関係者の協力が得られたこともあり目標を達成することができた。 今後も継続して担い手への農地集積に努めてもらい、担い手の規模拡大による経営安定につなげてもらいたい。</p>
--

2 目標を定量化する指標

(1) 改善計画終了時点（平成25年6月）

	成果指標	計画策定時				計画満了時（H24）			達成率 (B/A)	指標が達成されなかった要因
		成果 目標 (A)	基準値	目標値	目標年度	満了時 成 果 (B)	実績値	算定根拠		
必 須	担い手への農地利用集積率等の増加	14.0%	56.3%	70.3%	H21	6.0%	62.3%	担い手経営面積／地区農用地面積 15.20／24.40	42.9%	担い手への農地集積について、関係農家の理解が得られなかったため。
選 択		%				%			%	

計画策定時：計画を策定した時点での値

計画満了時：計画満了時（事後評価時点）での値（今回は改善計画満了時H25.6）

(2) 再改善計画終了時点（平成28年6月）

	成果指標	計画策定時				改善計画終了時（H27）			達成率 (B/A)	備 考
		成果 目標 (A)	基準値	目標値	目標年度	終了時 成 果 (B)	実績値	算定根拠		
必 須	担い手への農地利用集積率等の増加	14%	56.3%	70.3%	H21	16.3%	72.6%	72.6%=24.4ha/17.72ha	116%	
選 択		%				%			%	

計画策定時：計画を策定した時点での値

改善計画満了時：改善計画終了時点での値

算定根拠：出来るだけ詳細に記載の上、参考としてバック資料を添付

達成率：計画を策定した時点での成果と比較した値(下2桁)

(3) 指標達成に向けた方策

指標達成年度	平成27年度
全体計画	<p>《未達成の指標：担い手への農地利用集積率等の増加》 (計画主体としての方策) 今後は、地元代表者、改良区、南島原市と連携し、また必要に応じて島原振興局地域普及課やJA等と連携し作付作物の転換について連携を図り、担い手農家や地権者に対して説明や指導を行い、担い手農家への農地集積の推進に努める。</p> <p>(県としての方策) 現在、農地集積については、目標達成に向け継続して作業を進めており、計画主体との連絡・連携を図り必要な指導、情報提供等を継続していく。</p>
年度別計画	<p>1年目(平成25年度) ※年度別計画を設定していない場合は記入不要 当該地区における担い手農家の土地利用状況を把握し、担い手農家及び地権者に対して説明や指導を行う。</p> <p>2年目(平成26年度) 当該地区における農地集積率を把握し、目標達成に向けて担い手農家及び地権者に対する指導を行う。</p> <p>3年目(平成27年度) 当該地区における農地集積率を把握し、目標達成に向けて担い手農家及び地権者に対する指導を行い、農地集積率を70.3%へ引き上げる。</p>

(4) 指標の達成状況に関する評価

<p>(計画主体としての方策) 担い手農家及び地権者に対し指導した結果、集積目標値(70.3%)を達成したことにより、安定した農業経営が図られた。</p> <p>(県としての方策) 目標達成に向けた関係機関との協議調整及び地元関係者の協力が得られたこともあり目標を達成することができた。 今後も継続して担い手への農地集積に努めてもらい、担い手の規模拡大による経営安定につなげてもらいたい。</p>
--

3 総合評価

<p>(計画主体) 当該事業により、整備された農地が増加したことにより、農地利用集積及び耕作放棄地の防止が図られ、安定した農業経営が図られた。</p> <p>(県) 今後も継続して担い手への農地集積に努めてもらい、担い手の規模拡大による経営安定につなげてもらいたい。</p>

4 目標・指標の達成に向けた方策の【平成25年度】実績

(1) 元気な地域づくり計画の目標

H25年度実施予定方策	《未達成の目標：当該地区における担い手農家の土地利用状況を把握し、担い手農家及び地権者に対して説明や指導を行う。》
H25年度実績及び成果	当該地区の農地集積率を把握し、改良区を通じて担い手農家や地権者に対して土地の利用状況を説明、農地集積に対する指導を行った。担い手農家への農地利用集積率の実績は62.2%。
所見 (達成見込み等)	<p>(計画主体) 昨年に引き続き、改良区、担い手農家、地権者へ対して農地集積に対する指導を行ってきた結果、農地集積に対する意識は高まり、担い手農家と地権者との調整も進んだが、改善計画の目標数値の達成には至っていない。 担い手への農地集積率の向上を図るため、今後も継続して改良区や担い手農家へ説明・指導を実施していく。</p> <p>(県) 目標達成に向けて、関係機関とも連携しながら継続的に取り組んでいく必要がある。</p>

(2) 目標を定量化する指標

H25年度実施予定方策	《未達成の指標：当該地区における担い手農家の土地利用状況を把握し、担い手農家及び地権者に対して説明や指導を行う。》
H25年度実績及び成果	当該地区の農地集積率を把握し、改良区を通じて担い手農家や地権者に対して土地の利用状況を説明、農地集積に対する指導を行った。担い手農家への農地利用集積率の実績は62.2%。
所見 (達成見込み等)	<p>(計画主体) 昨年に引き続き、改良区、担い手農家、地権者へ対して農地集積に対する指導を行ってきた結果、農地集積に対する意識は高まり、担い手農家と地権者との調整も進んだが、改善計画の目標数値の達成には至っていない。 担い手への農地集積率の向上を図るため、今後も継続して改良区や担い手農家へ説明・指導を実施していく。</p> <p>計画時点での現況値（担い手への集積率）：56.3% 計画時点での目標値（担い手への集積率）：70.3%（増加ポイント14.0） 平成25年度実績値（担い手への集積率）：62.2%（増加ポイント5.9） ※目標値に対する実績割合（実績値/目標値）：42.1%（=5.9/14.0）</p> <p>(県) 目標達成に向けて、関係機関とも連携しながら継続的に取り組んでいく必要がある。</p>

4 目標・指標の達成に向けた方策の【平成26年度】実績

(1) 元気な地域づくり計画の目標

H26年度実施予定方策	《未達成の目標：当該地区における担い手農家の土地利用状況を把握し、担い手農家及び地権者に対して説明や指導を行う。》
H26年度実績及び成果	当該地区の農地集積率を把握し、改良区を通じて担い手農家や地権者に対して土地の利用状況を説明、農地集積に対する指導を行った。 担い手農家への農地利用集積率の実績は60.1%。
所見 (達成見込み等)	(計画主体) 昨年に引き続き、改良区、担い手農家、地権者へ対して農地集積に対する指導を行ってきた結果、農地集積に対する意識は高まり、担い手農家と地権者との調整も進んだが、改善計画の目標数値の達成には至っていない。 担い手への農地集積率の向上を図るため、今後も継続して改良区や担い手農家へ説明・指導を実施していく。 (県) 目標達成に向けて、関係機関とも連携しながら継続的に取り組んでいく必要がある。

(2) 目標を定量化する指標

H26年度実施予定方策	《未達成の指標：当該地区における担い手農家の土地利用状況を把握し、担い手農家及び地権者に対して説明や指導を行う。》
H26年度実績及び成果	当該地区の農地集積率を把握し、改良区を通じて担い手農家や地権者に対して土地の利用状況を説明、農地集積に対する指導を行った。 担い手農家への農地利用集積率の実績は60.1%。
所見 (達成見込み等)	(計画主体) 昨年に引き続き、改良区、担い手農家、地権者へ対して農地集積に対する指導を行ってきた結果、農地集積に対する意識は高っているが、一部では高齢による縮小農家もあり、改善計画の目標数値の達成には至っていない。 担い手への農地集積率の向上を図るため、今後も継続して改良区や担い手農家へ説明・指導と併せて地権者との調整を実施していく。 計画時点での現況値（担い手への集積率）：56.3% 計画時点での目標値（担い手への集積率）：70.3%（増加ポイント14.0） 平成26年度実績値（担い手への集積率）：60.1%（増加ポイント3.8） ※目標値に対する実績割合（実績値/目標値）：27.1%（=3.8/14.0） (県) 目標達成に向けて、関係機関とも連携しながら継続的に取り組んでいく必要がある。

4 目標・指標の達成に向けた方策の【平成27年度】実績

(1) 元気な地域づくり計画の目標

H27年度実施予定方策	《未達成の目標：当該地区における担い手農家の土地利用状況を把握し、担い手農家及び地権者に対して説明や指導を行う。》
H27年度実績及び成果	当該地区の農地集積率を把握し、改良区を通じて担い手農家や地権者に対して土地の利用状況を説明、農地集積に対する指導を行った結果、担い手及び地権者からの合意が得られ、集積率の目標値を達成することができた。担い手農家への農地利用集積率の実績は72.6%
所見 (達成見込み等)	<p>(計画主体) 昨年に引き続き、改良区、担い手農家、地権者へ対して農地集積に対する指導を行ってきた結果、農地集積に対する意識は高まり、担い手農家と地権者との調整も進み、改善計画の目標数値を達成することができた。</p> <p>(県) 目標達成に向けた関係機関との協議調整及び地元関係者の協力が得られたこともあり目標を達成することができた。 今後も更なる担い手への農地集積に努めてもらいたい。</p>

(2) 目標を定量化する指標

H27年度実施予定方策	《未達成の指標：当該地区における担い手農家の土地利用状況を把握し、担い手農家及び地権者に対して説明や指導を行う。》
H27年度実績及び成果	当該地区の農地集積率を把握し、改良区を通じて担い手農家や地権者に対して土地の利用状況を説明、農地集積に対する指導を行った結果、担い手及び地権者からの合意が得られ、集積率の目標値を達成することができた。担い手農家への農地利用集積率の実績は62.2%
所見 (達成見込み等)	<p>(計画主体) 昨年に引き続き、改良区、担い手農家、地権者へ対して農地集積に対する指導を行ってきた結果、農地集積に対する意識は高まり、担い手農家と地権者との調整も進み、担い手への農地利用集積が図られた。</p> <p>計画時点での現況値（担い手への集積率）：56.3% 計画時点での目標値（担い手への集積率）：70.3%（増加ポイント14.0） 平成27年度実績値（担い手への集積率）：72.6%（増加ポイント16.3） ※目標値に対する実績割合（実績値/目標値）：116.4%（=16.3/14.0）</p> <p>(県) 目標達成に向けた関係機関との協議調整及び地元関係者の協力が得られたこともあり目標を達成することができた。 今後も更なる担い手への農地集積に努めてもらいたい。</p>